



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東  
 コード番号 3923 URL https://www.rakus.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 戦略企画部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 050 (8880) 3200  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,074	31.2	1,704	152.2	1,714	152.8	1,299	199.7
2020年3月期第2四半期	5,391	32.3	676	△0.4	678	△0.6	433	△2.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,297百万円 (200.8%) 2020年3月期第2四半期 431百万円 (△3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	7.17	—
2020年3月期第2四半期	2.39	—

(注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、また、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,791	6,200	70.5
2020年3月期	7,039	5,192	73.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,200百万円 2020年3月期 5,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.20	3.20
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	1.65	1.65

(注) 1. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。  
 2. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,119	30.2	3,604	206.9	3,617	207.2	2,720	240.2	15.01

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	181,216,000株	2020年3月期	181,216,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,430株	2020年3月期	1,360株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	181,214,619株	2020年3月期2Q	181,214,710株

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、また、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年11月13日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する説明資料については、TDnetで決算短信と同時に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社が所属する情報通信サービス市場においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、働き方の見直しが進められており、リモートワークを実施するために業務のデジタル化が注目を集めております。

このような経営環境の中、当社グループは「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を経営方針に掲げ、2018年3月期の業績を基準として、2019年3月期から2021年3月期の3年間で、売上高、各段階利益ともCAGR（年平均成長率）30%の達成を目指しており、最終年にあたる2021年3月期においては、効率化を追求することで、高い売上高成長を維持しながら、高い利益成長を実現すべく、費用対効果を重視した成長投資を実施しております。

当第2四半期連結累計期間においては、緊急事態宣言の解除を受けて、停滞していた経済活動が徐々に再開されましたが、IT人材事業において顧客側でのリモートワーク下における新規エンジニアの受け入れノウハウが確立されていないことに加え、景気の先行きの不透明感が増していることが影響したためエンジニアのアサインが想定より遅れております。一方、当社の売上高の7割以上を占めるクラウド事業においては、顧客企業の働き方の見直しや効率化を目的としたデジタル化が意識され、当社が提供する業務効率化に貢献するクラウドサービスの新規受注が好調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,074,154千円（前年同四半期比31.2%増）、営業利益1,704,808千円（前年同四半期比152.2%増）、経常利益1,714,172千円（前年同四半期比152.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,299,718千円（前年同四半期比199.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## ①クラウド事業

クラウド事業は前期に実施した成長投資の効果に加え、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響による顧客企業の働き方の変化や効率化を目的とした導入が増加したことから、売上高5,605,456千円（前年同四半期比35.0%増）となりました。利益面では、増収効果に加え、効率的な成長投資を実施していることから、セグメント利益は1,632,338千円（前年同四半期比207.2%増）となりました。

## ②IT人材事業

IT人材事業は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響を受け、育成期間が終了したエンジニアのアサイン活動が想定より遅れております。エンジニアが前年同四半期比で増加していることから、売上高は1,468,698千円（前年同四半期比18.5%増）となりましたが、稼働率が低下していることから、セグメント利益は72,470千円（前年同四半期比49.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,048,049千円となり、前連結会計年度末に比べ1,634,738千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,428,747千円、売掛金が215,101千円、それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,743,691千円となり、前連結会計年度末に比べ117,816千円増加いたしました。主な要因は、のれんが81,897千円、投資有価証券が40,000千円、顧客関連資産が36,800千円減少したものの、工具、器具及び備品が140,549千円、差入保証金が84,677千円、繰延税金資産が64,465千円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,791,740千円となり、前連結会計年度末に比べ1,752,554千円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,542,860千円となり、前連結会計年度末に比べ769,219千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が482,495千円、未払消費税等が102,775千円、未払金が77,032千円、未払費用が59,442千円、前受金が33,072千円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は48,433千円となり、前連結会計年度末に比べて24,507千円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が15,314千円、長期未払費用が9,192千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,591,293千円となり、前連結会計年度末に比べ744,712千円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,200,446千円となり、前連結会計年度末に比べ1,007,842千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により289,943千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,299,718千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,428,747千円増加し、3,924,834千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ1,270,529千円増加し、1,762,639千円の収入となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,924,088千円、減価償却額136,717千円、のれん償却額81,897千円、その他営業活動による収入177,749千円であり、減少の主な内訳は、法人税等の支払額243,100千円、投資有価証券売却益210,000千円、売上債権の増加額180,561千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ138,760千円増加し、40,160千円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入250,000千円があったものの、有形固定資産の取得による支出180,966千円、差入保証金の差入による支出106,775千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ114,019千円減少し、293,266千円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額289,842千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

期初は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の影響から経済活動が停滞し、当社の営業活動にも影響がございましたが、クラウド事業においては、新規受注が好調に推移しており、今後も順調な新規受注の増加を見込んでおります。一方でIT人材事業においてはエンジニアのアサインが想定よりも遅れており、今後も厳しい状況が継続することを想定しております。

2021年3月期は2018年3月期の業績を基準として、売上高及び各段階利益でCAGR(年平均成長率)30%の達成に向けて、費用対効果を重視した効率的な成長投資を実施するという方針の下、主に広告宣伝費の抑制を計画しており、売上高は15,119,000千円(前連結会計年度比30.2%増)、営業利益3,604,000千円(前連結会計年度比206.9%増)、経常利益3,617,000千円(前連結会計年度比207.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,720,000千円(前連結会計年度比240.2%増)を計画しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,496,086	3,924,834
売掛金	1,686,540	1,901,642
商品	3,994	3,406
その他	238,042	228,310
貸倒引当金	△11,353	△10,144
流動資産合計	4,413,311	6,048,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,192	122,342
工具、器具及び備品(純額)	496,220	636,770
有形固定資産合計	619,413	759,113
無形固定資産		
のれん	955,476	873,578
顧客関連資産	208,533	171,733
ソフトウェア	49,212	42,748
無形固定資産合計	1,213,222	1,088,060
投資その他の資産		
投資有価証券	42,016	2,016
差入保証金	337,203	421,880
繰延税金資産	402,276	466,741
その他	19,999	12,605
貸倒引当金	△8,257	△6,727
投資その他の資産合計	793,238	896,517
固定資産合計	2,625,874	2,743,691
資産合計	7,039,185	8,791,740

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	194	113
短期借入金	3,335	-
未払金	428,937	505,970
未払費用	435,993	495,436
未払法人税等	267,314	749,810
未払消費税等	225,657	328,432
前受金	369,306	402,379
その他	42,901	60,717
流動負債合計	1,773,640	2,542,860
固定負債		
長期未払費用	22,723	13,531
繰延税金負債	50,217	34,902
固定負債合計	72,940	48,433
負債合計	1,846,581	2,591,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	4,510,580	5,520,355
自己株式	△404	△492
株主資本合計	5,196,582	6,206,268
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	1,178	2
為替換算調整勘定	△5,155	△5,824
その他の包括利益累計額合計	△3,977	△5,822
純資産合計	5,192,604	6,200,446
負債純資産合計	7,039,185	8,791,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,391,037	7,074,154
売上原価	1,831,476	2,404,062
売上総利益	3,559,561	4,670,092
販売費及び一般管理費	2,883,466	2,965,283
営業利益	676,095	1,704,808
営業外収益		
受取利息	24	17
受取補償金	-	8,178
助成金収入	2,602	1,679
その他	96	683
営業外収益合計	2,722	10,559
営業外費用		
支払利息	31	1
為替差損	727	1,178
その他	-	15
営業外費用合計	758	1,195
経常利益	678,059	1,714,172
特別利益		
投資有価証券売却益	-	210,000
特別利益合計	-	210,000
特別損失		
固定資産除却損	32	84
特別損失合計	32	84
税金等調整前四半期純利益	678,027	1,924,088
法人税、住民税及び事業税	305,125	703,630
法人税等調整額	△60,819	△79,260
法人税等合計	244,306	624,369
四半期純利益	433,721	1,299,718
親会社株主に帰属する四半期純利益	433,721	1,299,718



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	433,721	1,299,718
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△216	△1,176
為替換算調整勘定	△2,036	△668
その他の包括利益合計	△2,253	△1,844
四半期包括利益	431,468	1,297,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431,468	1,297,874

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	678,027	1,924,088
減価償却費	99,186	136,717
のれん償却額	81,897	81,897
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,285	△2,738
受取利息	△24	△17
支払利息	31	1
為替差損益 (△は益)	479	△128
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△210,000
固定資産除却損	32	84
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,762	△180,561
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,008	587
仕入債務の増減額 (△は減少)	△86	△80
未払金の増減額 (△は減少)	63,530	27,843
未払費用の増減額 (△は減少)	59,235	50,280
その他	△135,384	177,749
小計	702,456	2,005,723
利息及び配当金の受取額	24	17
利息の支払額	△31	△1
法人税等の支払額	△210,339	△243,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,110	1,762,639
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△133,756	△180,966
無形固定資産の取得による支出	△14,607	△3,200
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
投資有価証券の売却による収入	-	250,000
差入保証金の差入による支出	△21,950	△106,775
差入保証金の回収による収入	1,394	781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,920	△40,160
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	△3,335
自己株式の取得による支出	△118	△88
配当金の支払額	△199,127	△289,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,246	△293,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,205	△465
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	131,738	1,428,747
現金及び現金同等物の期首残高	2,236,000	2,496,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,367,738	3,924,834

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,151,172	1,239,865	5,391,037	-	5,391,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	8,619	8,651	△8,651	-
計	4,151,203	1,248,484	5,399,688	△8,651	5,391,037
セグメント利益	531,329	144,766	676,095	-	676,095

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,605,456	1,468,698	7,074,154	-	7,074,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	21,376	21,408	△21,408	-
計	5,605,487	1,490,075	7,095,562	△21,408	7,074,154
セグメント利益	1,632,338	72,470	1,704,808	-	1,704,808

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年9月1日開催の取締役会決議に基づき、2020年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	90,608,000株
②今回の分割により増加する株式数	90,608,000株
③株式分割後の発行済株式総数	181,216,000株
④株式分割後の発行可能株式総数	320,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	2020年9月15日
基準日	2020年9月30日
効力発生日	2020年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、サマリー情報の「1株当たり四半期純利益」に反映しております。